

JEAN-MARC LUISADA SUMINO HAYATO

ジャン・マルク・ルイ・サダ

奇跡の師弟共演が
ついに実現！

角野隼斗

リサイタル・シリーズ

Vol.10

2025.12.25 [木] 19:00開演(18:00ロビー開場)
東京芸術劇場 コンサートホール

全席指定(税込) S席 ¥9,000 | A席 ¥7,000 | 高校生以下 ¥1,000
発売日: 芸劇メンバーズ先行 2025.8.8[金]10:00 ~ 8.13[水]23:59
一般発売 2025.8.14[木]10:00 ~

お申込み・お問合せ: 東京芸術劇場ボックスオフィス

(土日祝日を除く10:00~17:00) ※9/6[土]より休館日を除く10:00~19:00

0570-010-296 <https://www.geigeki.jp/t/>

主催: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協賛: スタインウェイ・ジャパン株式会社

PROGRAM

ラヴェル/マ・メール・ロフ
Ravel: Ma Mère l'Oye

チャイコフスキー/《金平糖の踊り》《花のワルツ》
-バレエ『くるみ割り人形』より
Tchaikovsky: "Dance of the candy fairy",
"Waltz of the flowers" from The Nutcracker

ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲
Brahms: Variations on a Theme by Haydn Op.56b

ほか、2台、連弾、ソロのプログラムを予定

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

異なる個性を持った師弟共演はどのような音楽を紡ぐのか?!



Sumino Hayato

©RyuyaAmao

角野隼斗

2018年、東京大学大学院在学中にピティナ特級グランプリ受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、N響、読響など、国内外のオーケストラと多数共演。2024年、日本武道館で単独公演を開催し、ピアニストの史上最多動員13,000人を記録。ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界でのリサイタルを成功させるなど、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューも予定されている。"Cateen(かていん)"名義で活動するYouTubeは登録者数140万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、『Human Universe』をリリース。現在、ニューヨーク在住。公式ホームページ <https://hayatosum.com/>

2台ピアノを主軸としたリサイタル・シリーズ「VS」。記念すべきVol.10は、音楽ファンのみならず、世界中から熱い視線を集める異色のピアニスト 角野隼斗が満を持して登場します。そして、角野が今回共演者として熱望したのは、彼の師であり、フランスの大家 ジャン＝マルク・ルイサダ。多忙なふたりの師弟共演が奇跡的に実現しました!全く異なる個性を持った師弟共演はどのような音楽を紡ぐのか、期待が高まります。

ルイサダ先生と初めて会ったのは、パリに留学していた2018年のことでした。ある日サル・ガヴォーでのピアノリサイタルを見つけ、迷わずチケットを買いました。その時に演奏したモーツァルトとシューベルトは、当時パリで見たどんなものよりも美しかった。その後どうにかレッスンを受けられないかと思い、縁を辿って幸運にも実現しました。それから7年が経ちますが、今でも多くを学び続けています。先生の音楽はいつも真珠のようにキラキラとしていて、気品に満ちていて、少しのユーモアがあって、レッスンの度に溢れ出す音楽を必死で受け止めようとする時間は、私にとってかけがえのないものです。長年お世話になってきた先生と今回初めて共演できる喜びを、私は何と表現すれば良いでしょうか。「VS」という企画の名の下で先生の横に並んでしまうことはただ身のすくむ思いですが、それは一旦忘れて、音楽を楽しみたいと思います。——— 角野隼斗

クリスマス当日に開催する私たち2人のコンサートに向け、祝祭的で魔法のようなプログラムを考えました。このプログラムがコンサートに光と詩情をもたらしてくれることを願っています。

まずは、誰もがよく知っている“夜の音楽”で始めましょう。甘美で夢のようで、幕開けにふさわしい曲です。私が隼斗にラヴェルの『マ・メール・ロワ』やフォーレの『ドリー』のような夢想的な曲を弾いてみないかと提案したのは、彼のタッチがどれほど幻想的で繊細かを知っているからです。それと同時に、個人的にとっても思い入れがあり、また、隼斗にとっては比較的新しいレパートリーであるシューベルトとブラームスの曲を彼と共に弾けることを大変うれしく思っています。シューベルトの『ロザムンデ』は、優しく繊細で、クリスマス・コンサートにぴったりだと思います。ブラームスからは、コンサートの祝祭的な雰囲気によく合う素晴らしいワルツを数曲選びました。チャイコフスキーは、もちろん『くるみ割り人形』から《花のワルツ》と《金平糖の踊り》をお届けします。クリスマスには欠かせませんから!

2人の個性に合った、とても私たちらしいプログラムとなりました。初めて弟子と一緒に演奏できることは私にとって大きな喜びですし、このまたとない機会を観客の皆さんと分かち合えることを大変喜ばしく思っています。——— ジャン＝マルク・ルイサダ



Jean-Marc Luisada

ジャン＝マルク・ルイサダ

パリ音楽院などで学び、1985年のショパン国際ピアノコンクールで入賞して以来、傑出したピアニストとして活動している。デュトワやヤノフスキらが指揮するロンドン響、フランス国立管、またモディリアーニ弦楽四重奏団などと共演し、カーネギーホールやウィグモアホールなどの主要ホールで演奏。国際音楽祭にも数多く招かれている。録音も多く、ドイツ・グラモフォンとソニーから発売したショパンのワルツ、マズルカ、グラナドス『ゴイエスカス』などは評判を呼んだ。ラ・ドルチェ・ヴォルタ・レーベルからは最新盤『今夜は映画館で』をリリース。自らの人生を育んだ映画へのオマージュとなっている。フランス共和国芸術文化勲章"オフィシエ"を受勲。

チケット料金 (税込) S席 9,000円 | A席 7,000円 | 高校生以下 1,000円

※未就学児はご入場いただけません。
※高校生以下チケットは、一般発売より東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定・公演当日要証明書)。
※障害者手帳・マイリロIDをお持ちの方は、割引料金でご鑑賞いただけます。
詳細はボックスオフィス、または劇場WEBサイト(鑑賞のサポート)にてご確認ください(要事前予約)。
※車いすでご鑑賞を希望のお客様は、ご案内できるスペースに限りがあるため、ご購入前にボックスオフィス(0570-010-296)へお問合せください。
※本公演ではヒアリンググループ(磁気ループ)が客席の一部で作動します。
※開演時間に遅れますと、しばらくの間ご入場いただけない場合や、自席にご案内できない場合がございます。
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等に変更が生じる場合がございます。
※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更は承れません。
※ご来場前に必ず劇場WEBサイト内の最新情報をご確認ください。



チケットお取り扱い

▶東京芸術劇場ボックスオフィス

電話 ————— 0570-010-296(土日祝日を除く10:00～17:00) *9/6(土)より休館日を除く10:00～19:00

WEB ————— <https://www.geigeki.jp/t/> *24時間受付(メンテナンスの時間を除く)

窓口 ————— 9/6[土]より休館日を除く10:00～19:00

- ▶チケットぴあ <https://pia.jp/t/geigeki/>
- ▶イープラス <https://eplus.jp/geigeki/>
- ▶ローソンチケット <https://l-tike.com/>

お問合せ:東京芸術劇場ボックスオフィス
0570-010-296(土日祝日を除く10:00～17:00)
※9/6[土]より休館日を除く10:00～19:00
主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協賛:スタインウェイ・ジャパン株式会社

〔東京芸術劇場託児サービス〕※有料・定員制
株式会社明日香 Tel: 0120-165-115 (平日9:00～17:00)
託児予約フォーム <https://ws.formzu.net/dist/S11738210/>



チケット発売日

▶芸劇メンバーズ先行

8.8[金] 10:00～ 8.13[水] 23:59

▶一般発売 8.14[木] 10:00～

会場

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021豊島区西池袋1-8-1 TEL 03-5391-2111

▷JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線

池袋駅西口より徒歩2分。

駅地下通路2b出口と直結。※休館中は閉鎖。

